

令和4年度 第二回 国営海の中道海浜公園魅力向上推進協議会 ＜議事要旨＞

■日 時：令和4年11月22日（火）15：30～17：40

■場 所：国営海の中道海浜公園事務所

■主な意見等

1) 前回協議会での課題、意見等に関する取組状況

→協議会の中で、事業者同士で連携の可能性や挙げられる効果について議論が活発になればいいと思う。[有識者]

① 資料2の広報活動について、グランピング施設利用者数はどういう状況か。[有識者]

→コロナ禍の折、なかなか海外や九州外からの利用は少ない。開業当初は家族連れが多かったが、最近では大人のカップルが多くなっている。[園内関係機関]

→コロナ禍とインバウンドが止まっていることで、まだまだ認知度が足りていないと思っており、てこ入れ策を講じている。[園内関係機関]

→開業当初、新聞紙面に大きく取り上げられていたが、またフォローしてもらえないものか。[有識者]

→認知度が足りていないことは痛感しているのだが、無駄足にならぬようコロナ禍が終われば、新聞・マスコミ等に大々的にPRしていきたい。[園内関係機関]

② 資料2について、最も必要なのは宣伝だと思うが、テレビ局2局に取り上げられ、何か反応はあったか。[有識者]

→家族連れの方々から若干の反応はあった。この秋以降は著名なインスタグラマーを10名ほど招いたおかげで、INN THE PARKのフォロワー数もかなりのペースで増えた。地上波とWebマガジンとSNSを組み合わせ、メディアミックスということでバランス良くやっていきたい。[公園関係機関]

→近隣の海外の国々はコロナ対策が変わってきたこともあり、インバウンド関係も変わってくる。そちらに向けての情報発信もお願いしたい。[有識者]

③ リピーターを増やす上では、INN THE PARKは泊まれる公園として各事業者と連携して、1泊2日でパッケージ化し、季節に応じたメニューをセットにして体験できる等あれば、行くたびに毎回楽しめるのではないかと。若い世代やインバウンドの方にも対応できるようなメニューを総合的に考えると、リピーターも見込めるのではないかと思う。[有識者]

→多様な主体が関わっているなかで、いろんなメニューを提供していくということは大変重要と考えている。今年度、どういうパッケージができるか、福岡市と取組みを始めたところ。[公園管理者]

2) 各主体における今年度の取組状況

① 参考資料2について、企業研修はルイガンズの宿泊客に提供しているのか。[有識者]

→従来は日帰りのボランティア活動でビーチクリーンをされることが多かったが、企業側から宿泊とビーチクリーンの申し出があったため、チームビルディングなども提案したところ選ばれた。[公園関係機関]

→各機関同士で情報を共有し、提案できる体制は、素晴らしい取組みだ。情報の共有は続けてほしい。

ルイガンズで打ち上げる花火は、グランピング施設からも見えると思うので、お客様に伝えるだけで、得した気分になり喜ばれるのではないかと。[有識者]

- ② 繁殖に成功したニッポンパラタナゴについて、将来福岡県内の水田や水路で増やす計画はあるのか。また、ハカタスジシマドジョウなど別の絶滅危惧種についても同じ取組みを考えているのか。[有識者]

→ニッポンパラタナゴについては、場所によって DNA が違う。今預かっているのは福津市で採取したニッポンパラタナゴなので、再度個体の DNA 検査をして、違うものが混ざっていないか確認した後、元の生息域に戻すということは今後あり得る活動だと考えている。また、ハカタスジシマドジョウについては現在福岡県と共同で増殖活動をしている。今後、数を増やすことができれば自然界に戻すようにしたいと考えている。淡水魚は地味だという評判も多いが、現在絶滅の危険性が高いのは身近な生き物なので、国営公園の豊かな自然のなかで保全活動に取り組んでいきたい。[公園関係機関]

- ③ 博多湾の水質は随分改善されているようだが、汚泥が増えていることについて、何か原因はあるのか。[有識者]

→博多湾の水質については福岡市の博多湾保全環境推進委員会で行われている。博多湾という一律の考え方ではなく、雁ノ巣は湾奥なので、入口に比べ水の交換が滞りがちではある。毎年福岡市は水質のモニタリング調査をし、博多湾保全環境推進委員会でも報告している。昨今は温暖化も進んでいて、環境も大きく変化していると思うが、ここ 4、5 年は台風が博多湾側に来っていないので海水の攪拌が行われていないことも原因に挙げられると思う。環境問題にはいろいろなファクターが含まれると思うが、博多湾の泥が少し増えたのもここ何年かのような気がする。どこかのタイミングで潮通りが変わるかもしれない。長い目で見守っていきたいと思っている。[公園関係機関]

→各主体別で何か対応するのではなく、国営公園、博多港、福岡市、港湾関係などでいろんな情報共有や連携の仕組みを作っていけるといい。一貫して情報共有という話になるが、今後も施策を語っていただきたいと思う。[有識者]

- ④ 参考資料 5 について、九州 UMI アカデミーは HP だけで募集しているのか。[有識者]

→HP だけでなく、マリノアシティや九州 UMI アカデミーの前に開催した親子シーカヤック体験での案内、今回 12 回目なので以前の参加者からの広がり等だ。[公園関係機関]

→福岡市の市政だよりも掲載できないのか。[有識者]

→掲載料が発生するのがネックだという話が出たことがある。[公園関係機関]

→良いイベントだと思うので、宣伝ではなくて、市内における一つのイベントとして取り上げてもらえないかお願いする価値はあるのではないかと。[有識者]

- ⑤ 【テニス】で車椅子テニス大会開催が難しいという判断をされているが、一方で「多様な人の多様な学び、活躍を支える公園」を将来像に掲げている。大会はできなくても、車椅子の方でもテニスができる、まず指導するということなら、より市民、障害者に近づけるのではないかと。大会開催ではなく、指導などにシフトし市民に寄り添うことをすればいいのではないかと。[有識者]

→車椅子の方たちが安心して始められるテニスコートがここにあるということを市民に知ってもらうこともいいことだと思う。様々な人たちがいろんなスポーツを楽しめる環境がここにあるということを市の広報にPRしてもらうのもいいのではないか。[有識者]

- ⑥ 海の家が INN THE PARK と連携しているという話が出たが、これだけの主体が揃っているのに、新しい P-PFI に限らずどんな連携ができるかと模索されているところが素晴らしいと思った。また、参加者の人数だけでなくインサイト、利用者の満足度や体験の質も含まれてフォローアップされているのは非常に良いと感じた。[有識者]

- ⑦ SNS や広報が個別にされている印象を受けた。実際に今インターネットで「うみなかたび」のページを見てみても、全体をカバーするような情報は出てこない。これだけの主体で情報を効率的に、それぞれオペレーションしやすいように広報するにはどうしたら良いのか議論できたら良い。[有識者]

- ⑧ INN THE PARK について、会社からではなく管理センターを窓口として市へ広報のお願いをできないか。[有識者]

→取り扱いを確認したい。[公園管理者]

- ⑨ 全体を通じて、今回は各主体としての報告が多かったのが、希望としては、各主体間の連携上の課題や全体を通じての課題克服のため何をしたら良いかを議論できる場になればいいと思う。そのためには全体の課題はもちろん、今後の展望の共有や議論のポイントを会議の前に示してもらえると、何ができるか活発な議論ができる。[有識者]

- ⑩ 池を対象にしたプログラム、海域を対象にしたプログラム、公園と海域を対象にしたプログラム等たくさんあると思う。管理された主体ごとの領域をまたがるものがもっとあればいいのではないか。対象域のクロス、自分たちがしていることを他の場所に持っていくなど、難しいとは思いますが一つ二つつつしていくと、クロスオーバーが起きて、これだけの主体が関わる意味が出てくると思う。人数だけでなく、公園の体験の質を更に上げるためにはどうしたらいいか図ることができれば尚良い。これだけの主体が集まると、それぞれのテリトリーが見えてきてしまうが、それを超えて何かできるのか、次回以降ぜひ議論したい。[有識者]

- ⑪ 時間的制約を考えると、テーマ別の連携・戦略ワーキングのようなものが将来できればいい。そのためには、連携を前提としたどのような戦略テーマがあるのか洗い出しというプロセスを経て、この協議会が発展していくと良い。企業秘密的な部分、ノウハウの知的財産的なものを守りつつ協議を進めるということをししないと、非常に具体的な話題で意見交換をしなければいけないので、この協議会形式では難しい話題が含まれてしまう。そのあたりを踏まえた、魅力向上推進の枠組みを議論していくことができればいいかと思う。[有識者]

→新しい共同体でスタートしたばかりで、認知度を上げるのは大変だと思う。十分魅力のある地域なので、知っていただくだけで多くの人に来ていただけたらと思う。[有識者]

→協議会のなかで何を議論していただくか整理した上で、最初に提示する形としたい。大きく分けると、春はその1年の予定、秋は中間報告してそれぞれご意見いただくという大枠のなかで、今回はどこの話を進めるか整理していきたいと思う。〔公園管理者〕

－以上－